(昭和29年2月9日第三種郵便物認可)　日本水道新聞　毎週月・木曜日発行（週2回）　2015年(平成27年)8月20日(木)

日本水道新聞

発行所
日本水道新聞社
本社：〒102-0074
東京都千代田区九段南4-8-9
TEL 03(3264)6721
FAX 03(3264)6725
編集部直通 03(3264)6722
大阪支社：〒541-0051
大阪市中央区備後町3-3-9
TEL 06(6125)3630
FAX 06(6125)3866
http://www.suido-gesuido.co.jp

水道イノベーション賞

大賞は岩手県矢巾町

東京都・神奈川県、宮古島市が特別賞

日本水道協会は14日、平成27年度水道イノベーション賞の大賞、特別賞を公表した（一部既報）。大賞は岩手県矢巾町上下水道課の「社会的ジレンマを乗り越えた住民参加型水道事業ビジョン策定とフューチャーデザイン」、特別賞は東京都水道局、神奈川県企業庁、宮古島市上下水道部の取組みに決定した。授賞式はさいたま市で10月21日から開催する日水協全国会議で行う予定。

矢巾町上下水道課は平成18年に地域水道ビジョンを策定したが、役所の思いだけではビジョンを実現することはできないと実感。こうした状況を踏まえ、水道政策をより実効的なものとするためには、住民の理解促進や合意形成が不可欠と認識し、アウトリーチ手法や独自の水道サポーター制度を導入した。

その中で、短期的かつ私的な利益を求めるニーズと、長期的な公共の利益を求めるニーズとの両方が住民の中に共存しており、このことが最終的に「社会的ジレンマ」の構造になっていることを発見した。

そこで、独自の「重層的住民参加の手法」を考案し、20年3月から住民参加型の水道政策・ビジョンづくりを開始。26年度からはこれまでの経験を活かし、住民参加型の水道事業ビジョン策定に着手し、サポーターの参加による住民ワークショップ、専門家と住民で構成する検討会を繰り返し開催した結果、住民ワークショップで、料金値上げを行い水道管の更新サイクルを70年とする更新計画が採択された。

さらに26年から将来世代の視点・利益も含めたビジョン選択を進めていくため、「フューチャーデザイン手法」を研究する大阪大学環境イノベーションデザインセンターと連携。将来世代にも適切な水道ビジョンのあり方を提案するための新たな実践をスタートさせている。

これらの取組みにより、社会的ジレンマを乗り越えた判断や意思決定を住民自身が行った他に例のない先進的な事例・モデルを構築すると同時に、矢巾町におけるこれらの方法論や実践は住民参加理論にも裏付けされたものでもあるため、経験や実践例を一般化する中で他の地域にも応用展開できる可能性がある。

さらに、将来世代にわたって真に持続的な水道事業計画・ビジョンづくりのための土台を構築しつつあり、今後この参加型手法を体系化することで、未来世代に向けて課題を抱えつつある自治体レベルでの水道政策に対しても新たなアプローチを提示できる。

住民とともに作りあげてきた水道の原点に立ち返り、長期間にわたり検討を重ね、先進的なモデルを構築した努力が評価されたほか、特に更新計画策定に苦慮する事業体の参考となるとして大賞に選定された。

特別賞は、東京都水道局の「多摩川上流域における水道水源林の適正管理と民有林の再生」、神奈川県企業庁の「『かながわ方式による水ビジネス』～箱根地区水道事業包括委託～」、宮古島市上下水道部の「市町村合併に伴う不安定給水区域の解消（長スパン橋梁添架による送水管の布設）」に決定した。

東京都水道局は、水道水源林を100年以上にわたり所有・適正管理する中で、荒廃した民有林の再生を進めるため、民有林の購入や年150回超のボランティアによる森林保全活動を実施。安定給水のために水源地を守り続ける地道な施策を長年にわたり展開してきた努力が評価された。

神奈川県企業庁は中小規模の水道事業の経営課題を解決するとともに、民間企業の水道事業運営に関する実績づくりやノウハウ習得を支援するため、箱根地区における事業運営全般の業務を包括委託。広範囲の委託業務を適正に管理するため、事業体職員の配置、必要に応じた担当者レベルのWGの設置等、事業体側の十分なフォローにより、安定した業務が履行され、所期の成果を上げているなど、持続可能な水道事業を実現するための公民連携モデルを構築したことが評価された。

宮古島市上下水道部は不安定給水区域を解消するため、長スパンの橋梁に送水管を添架するなど、さまざまな工夫により地域実情に合った水道システムを構築し、給水サービスの公平性を確保した事例として評価された。

仮設配管レンタルに
リユースシステム
株式会社 光明製作所
http://www.komei-ss.co.jp

特集
2015キャンペーン③
＝2面＝
時代の伝承⑬
＝4面＝
ライフライングラビア
＝別刷＝

日水協

地方支部総会が終了

日本水道協会関東地方支部は19日、川崎市内で第83回総会を開き、10題の会員提出問題など6議案を審議、了承した。（追って詳細）

これにより、九州地方支部総会（那覇市）から始まった地方支部総会がすべて終了。九州地方支部は10題、東北地方支部は16題、関西地方支部は10題、北海道地方支部は2題、中部地方支部は5題、中国四国地方は9題の会員提出問題を討議、10月23日にさいたま市で開かれる全国総会へ上程することを決めた。

会員提出問題では、放射性物質を含む浄水発生土の処理体制確立、水道施設の更新・耐震化、危機管理対策、ダムの大型改修、簡水統合などに対する財政支援、公的資金補償金免除繰上償還制度の復活、配水管等の耐用年数の見直し、指定給水装置工事事業者の登録更新制度の創設、水道料金への軽減税率適用、水道事業における電力確保対策、交付金の一部事務組合への直接交付などを求めている。

予算獲得へ陳情展開

企業団協役員会　鈴木議員らに訴える

全国水道企業団協議会一で第161回役員会を開一　役員会後、3班の陳情

長をはじめ、厚生労働省、総務省など関係5省に要望活動を実施した。

小林会長は同議連の鈴木会長代理、今津副会長、盛山幹事長に要望書を手交。人口減少に伴う給水見を交わし、施設の更新・耐震化などに対する財政支援、交付金の企業団等への直接交付を強く求めた。総会決議事項のうち、厚労省には8事項、総務省と国土交通省には

の考え方や活動への理解と賛同の輪を広げていく必要がある」と述べ、さらなる協力を呼びかけた。

要望事項は次の通り。

▽放射性物質対策に要した損害賠償▽水道事業

初のテーマ別討議

厚労省／経産省

富山市で官民連携協議会

厚生労働省と経済産業省は7月28日、富山市内で平成27年度第1回水道分野における官民連携推進協議会を開いた。官民の関係者ら約120人が参加する中、民間事業者を代表して、水道運営管理協会の與三本毅運営委員長が「官民連携の導入検討」、日本政策投資銀行の中村欣央地域企画部担当部長が「水道事業におけるDBJの取組み」についてプレゼン。厚労省健康局水道課の髙澤哲也水道計画指導室長が「水道事業における官民連携」、経産省経済産業政策局地域経済産業グループ産業施設課の板倉賢司工業用水道計画官が「工業用水道におけるPPP／PFI」について説明したほか、参加者全員によるフリーマッチングとテーマ別グループディスカッションを行った。

ディスカッションのテーマは▽官民連携による組織・体制の強化▽水道および工業用水道施設の更新（耐震化とダウンサイジングを含む）▽中小事業体における取組み方策▽PFI・コンセッション方式を含む官民連携手法の検討。

これまでもグループ別ディスカッションを行ってきたが、テーマ別にグループを設定したのは初めて。また、今回初の試みとしてフリーマッチングを2回実施。ディスカッション後にも行うことで、その内容も踏まえたマッチングを促した。

環境省

巨大モールを席巻

水の日　感謝を市民と共有

環境省は「水の日」に合わせて1、2の両日、国内最大級のショッピングモール・千葉市のイオンモール幕張新都心で水子育て、スポーツなど幅広い視点から「水」にアプローチし、23の企業・団体がブースを出展し、水との新たな向き合い方多くの市民で賑わった。

イオンモールが総力を挙げて協力。ブース出展した有名化粧品メーカーや食料品関連企業、飲料メーカー、衛生機器メーカー、スポーツ関連企業などが集客に工夫を凝らし、広い店内を「水」が席巻した。

水をつなぐ。水でつなぐ未来。
Agency Water
株式会社 ウォーターエージェンシー
〒162-0813 東京都新宿区東五軒町3-25 TEL(03)3267-4001
http://www.water-agency.com/

簡易水質検査セット
水レスQ一
●日常の水質管理の他、「非常時用」として最適!
●1台常備しておけば安心です。
セントラル科学株式会社
本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-14
TEL 03(3812)9186　FAX 03(3814)7638

24日付は休刊

水滴

水道イノベーション賞の大賞に矢巾町。並居る大事業体を抑え。

◇

規模が小さいからこそ可能な取組みも。まずは前向きに挑戦を。

◇

官民連携は有効な課題解決の一方策。協議会も新機軸取り入れ。

◇

自助努力と同時並行で全国レベルの行動も。総会で総意結集を。

◇

概算要求は間近？会員提出問題の実現へ時宜を得た要望活動を。

震シリーズが堂々デビュー!!
ソフトシール仕切弁」と不断水分岐管を融合一体化した製品です。このたび
ボール形の可撓部（免震ユニット）を組み込むことにより、分岐部にかかる
NEW!
次世代を拓く
DUNKI SYSTEM
形挿口・可撓タイプ）　■SVM-BP（PE挿し口付・可撓タイプ）